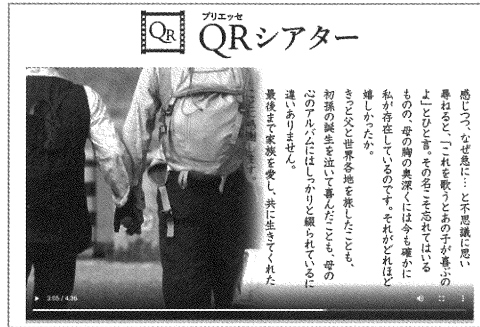


特集

新型コロナウイルス感染拡大防止と「新しい生活様式」への対応として、人と人が直接的に接触しないインターネットの活用が盛んとなっている。



オンラインショップ（スーパーまるおか）



QRシアター（プリエッセ）



ネット配信（ラジオ高崎）

コロナ対応で 気がついたこと

プリエッセ スマホで見られる 映像の会葬礼状

●スマホで故人を偲ぶ

プリエッセでは、故人の思い出の映像と施主の思いを綴ったスマホ用の会葬礼状「QRシアター」の提供を5月から行っている。

新型コロナウイルスの影響で葬儀の時間も短くなり、故人へのお別れや遺族にお悔やみを告げる時間が限られてしまっていることから、葬儀のあとでもスマホで映像を見ながらゆっくりと故人を偲んでほしいと、この「QRシアター」のサービスを開始した。

会葬礼状とともに、「QRシアター」にアクセスするためのコードを印刷したカードを同封し、スマホからアクセスしてもらおう。再生時間は2〜3分で、故人の思い出の写真や映像、遺族から



QRシアター



のメッセージのナレーションなどで構成されている。

●コロナの影響で葬儀も変化

「新型コロナウイルスの感染拡大により、密を避ける、外出自粛となり、短い期間で葬儀も変化しました」とプリエッセの竹内一普社長は語る。

各会館では感染防止対策として『アルコール消毒の設置』『席間を大きく開けること』『換気の徹底』を行なっている。

る。遺族や僧侶の意向・判断も踏まえ、葬儀を待たずに会葬者が焼香をして退室するかたち選ばれている。新たな葬儀のかたちとなるのかは別に、受付をしたらずに焼香をできるのも、感染防止対策の一つだ。

短くなった会式時間を補うため、QRシアターのサービスを始めた。これまでも、故人の業績や人生を偲ぶ映像を制作して葬儀会場で流していたので、インターネットを活用したQRシ

アターへの対応もスムーズだったそうだ。「家に帰ってゆっくりと見ることができ、本当に感動した」などの声が寄せられた。

竹内社長は「受付だけで帰られてしまう方も少なからずいらっしゃいます。参列した方には、故人にお別れをし、ご遺族や施主様にごあいさつをしていただきたくことが大切と私は考えています。悲しみの涙を感動と感謝の涙にと、葬儀を考えています」と語る。

●家族葬の要望が増加

新型コロナウイルスの感染拡大によって、葬儀の規模が縮小し「家族葬を希望されるご遺族が増えました。開口一番『家族葬で』と要望されます」という。家族葬と言っても、同居家族だけ、近親者や親しい友人も含めるなど、考え方には幅があるようだ。

家族葬のニーズは増加しており、プリエッセは家族葬に対応したホールや家族葬専用ホールを提供している。

本町プリエッセでは、ホテルのような落ち着いた雰囲気のある家族葬施設「アルフィーネ」が今年2月にオープンしている。式場、ラウンジ、ダイニング、和室、寝室を備え、家族葬専用フロアとなっている。

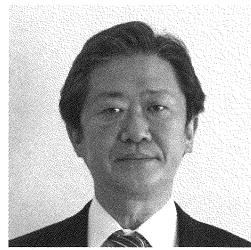
●葬儀社ならではの危機管理も

新型コロナウイルス感染症によって亡くなった方のご遺体の輸送、火葬は、十分な感染拡大防止対策が必要だ。群馬県内、高崎市市内でも感染症の死亡者が出ており、プリエッセでも防護服を始め、必要な装備を備えている。今後は、感染症が疑われるケースや、感染が判明していないケースもあると考えられ、

「故人の尊厳や遺族のプライバシーを尊重しながら、感染防止対策を行うことが重要です。感染防止対策の検証も実施しています」と竹内社長は話す。

株式会社プリエッセ

竹内一普社長



群馬県高崎市本町 89
027-323-3663
<http://www.priese.co.jp/>
本町プリエッセ
下之城プリエッセ
プリエッセアシストぐんま
石原プリエッセアルフィオーネ

葬儀、相続、故人の遺品整理などプリエッセは専門スタッフがワンストップで対応しています。長く地域に根差した葬儀社ですから、代々にわたってお世話になっている方々、企業もいらっしやいます。

新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行いながら、厳粛な儀式の場を提供していくことが私たちの使命です。故人をきちんとお送りすることによって、ご遺族や残された方々も悔いなく次の歩みを進めていくことができると考えています。故人の遺志や家族の思いを大切にしたい葬儀を、お手伝いさせていただきます。

IT活用で大学受験も大きく変化か

●オープンキャンパスはオンライン配信に力入れる

高崎市内には、高崎経済大学、高崎商科大学・短期大学部、高崎健康福祉大学、群馬パース大学、上武大学、育英大学・育英短期大学、新島学園短期大学が所在し、全国、海外から学生が集まっている。

新型コロナウイルスの感染拡大により、人の移動や接触について配慮が必要となっていることから、受験事情も変わってきているようだ。

毎年、大学・専門学校では、高校卒業生・受験生に向けた学校紹介「オープンキャンパス」を夏ごろから実施している。オープンキャンパスの実施方法については既に6月頃から情報リリースされている。今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、高崎市内の大学においても志望者をキャンパスに連れてもらう従来の形態を取り止め、インターネットによる「オープンキャンパス」が行われている。

実際にオープンキャンパスが行われるのは、7月から9月が中心で、人は集めずウェブだけで開催する大学、感染症対策を講じて参加人数を制限して開催する大学など取り組みに違いはあるが、各校ともインターネットによる情報配信は例年以上に力を入れている。

インターネットで動画等を配信する「W

e b オープンキャンパス」を7月から9月の土日曜日などの期日限定で解説し、事前登録により、開催日時に特設サイトにアクセスしてもらおう。

●受験相談や面接試験もインターネットで

オープンキャンパスでは、大学・学部のカイダンス、学生生活の紹介、模擬授業の配信に加え、入試説明も行われる。授業等については、リアルタイムで配信するケースもある。

テレワークによってリモート会議アプリが普及したことから、入試や学費、学生生活について大学スタッフとオンラインで相談できるような取り組みも行われている。

推薦入試等の面接試験は、実際に対面して行う大学もあるが、高崎経済大学では、「地域政策学部学校推薦型選抜I」で、面接試験をオンラインで実施することを発表している。面接試験がインターネットを活用して行われる時代になった。

パソコンの画面越しに行うオンラインでの会話は、画面に表示される人の動きと聞こえる音声に時間的なずれを生じることがあり、慣れないと対面する面接と雰囲気が違うので、入試対策としてオンライン面接の練習も必要になるかもしれない。

●願書はWEB・受験料はクレカ

高崎経済大学は、大学院入試を除く全ての入試で、インターネット上のWEB出

願に移行し、紙の願書は廃止した。また紙による学生募集要項も作成しない。(なお調査書など出願期間中に郵送する書類がある。)

市内の私立大学でもWEB出願は導入されており、併願をすると受験料が割引となる制度もある。

受験料の納入にはクレジットカード、コンビニ払いなどが利用でき、ネットショッピングなどの普及にもなって受験もIT化による利便性向上が進んでいる。

●試験は「試験会場」で受験

入試の要項は既に発表されており、試験についてはオンラインというわけにはいかないようだ。試験会場に受験生が実際に行って、受験する。

入試会場等での対応について、既にガイドラインを発表している市内大学もある。例えば、高崎健康福祉大学の発表では、会場の入退室の際は手指消毒、会場内ではマスク着用などとなっている。

体調面については、審査日直前に保健所等から濃厚接触者に該当すると指摘された場合や新型コロナウイルス感染症を疑う症状があり試験日に37.5度以上の発熱がある場合などは受験できないこととし、受験者の希望で受験区分の振替等を選択できるようにしている。

コロナ時代の受験生は、実力を発揮するための健康管理が一層重要となるようだ。